

北九州空港滑走路延長事業に係る計画段階環境配慮書に対する市長意見
(環境影響評価方法書以降の環境配慮手続きに向けた留意事項)

本事業の実施に伴い、航空機便数及び貨物の陸上輸送の増加による大気質や騒音などへの影響が懸念される。また、事業実施想定区域及びその周辺では、国内希少種に指定されているチュウヒの存在が確認されているなど、鳥類をはじめとした動物、植物及び生態系への影響が懸念される。

このため、今後の環境影響評価の実施に当たっては、航空需要の予測を踏まえた事業計画を策定するとともに、専門家等からの助言を踏まえて、適切な環境影響評価項目並びに調査、予測及び評価手法を選定し、本事業による環境影響の回避又は低減に努めること。